

## 5 利用支援

公共図書館は「すべての住民の学習権の保障」「いつでも・どこでも・だれでも利用できる図書館」を目標としています。印刷された資料を読むことができない、来館が難しいなど、利用するうえで図書館側にある障害を取り除き、誰もが使える図書館が実現することを目指しています。

中央図書館6階に利用支援コーナーを設け、見えない・見えにくい方や高齢・病気などで来館できない方、障害のある子どもたちを対象に、多くの市民の方の協力を得てサービスを行っています。

具体的には、音訳サービス、点訳サービス、大活字本の提供、宅配サービス、子どもたちへの布の絵本・布の遊具の提供、ウェブサイトなどを音声で読み上げさせるためのパソコンや拡大読書器の設置などがあります。



利用支援コーナー



拡大読書器

### (1) 利用登録者数の推移

印刷された文字をそのままでは読むことができない方に使っていただける利用支援サービス用資料（DAISY図書、マルチメディアDAISY図書、布の絵本・布の遊具など）を貸し出すためには、利用支援サービスへの登録が必要です。調布市立図書館では、このサービスを担当する部署名に「ハンディキャップサービス係」という名称を用いてきましたが、よりわかりやすい係名にするため、平成31年4月に「利用支援係」に変更しました。しかし、電算システム上は旧名称を引き継いでいるため、HS資料、HS利用者となっています。令和4年度の団体登録（HS団体）は、ありませんでした。

#### 個人利用登録者数の推移 (人)

年度 区分	H30	R1	R2	R3	R4
HS利用者	88	86	79	77	64
HS宅配 ※1	18	15	14	17	16
一般宅配 ※2	184	189	175	198	178
合計	290	290	268	292	258

各年度3月31日現在

※1 HS資料を利用する図書宅配利用登録者

※2 一般資料を利用する図書宅配利用登録者

## (2) 音訳サービス

### ア 録音図書の作成・貸出し

録音図書とは、本を1冊まるごと音声にしたものです。録音図書はデジタル化が進み、テープ図書から<sup>デジタル</sup>DAISY図書<sup>※3</sup>へ移行しています。DAISY図書は、専用の再生機で再生すると、しおりを付ける、章ごとに頭出しする、読みたいページに移動するなどの操作が可能です。

新しく出版された本の情報や利用者からのリクエストをもとに音訳する資料を選び、DAISY図書の作成・貸出しを行っています。調布市立図書館で所蔵のない録音図書は、全国の点字図書館などから取り寄せることができます。また、視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」<sup>※4</sup>を通して、DAISY図書データをダウンロードし、貸出しすることも可能です。サピエの利用は個人でも登録ができ、図書館を通さず利用可能なため、調布市立図書館の録音図書貸出数が減少している一因となっています。

また、国立国会図書館の「視覚障害者等用データの収集および送信サービス」からもDAISY図書データをダウンロードし、貸し出すことができます。これは、平成26年1月に開始されたサービスで、国立国会図書館や全国の公共図書館などで製作された点字図書、DAISY図書データ等をインターネットからダウンロードできるサービスです。調布市立図書館で作成したDAISY図書データも試行の段階から提供しており、全国で利用されています。

### イ 対面朗読・プライベート音訳サービス

図書館の資料や新聞・雑誌・個人所有の資料など、利用者が希望する資料を音訳者が読む対面朗読のサービスを行っています。録音図書が一方向の利用であるのに比べて、内容や語句についての疑問をその場で辞書を引いて確認したり、複数の本から読みたい部分だけを比較しながら聞いたりできるというメリットがあります。また、希望の資料を音訳者が録音し、利用者に提供するプライベート音訳サービスも行っています。家電製品の取扱説明書や、趣味の資料など、幅広く利用されています。

### ウ マルチメディアDAISY図書の作成・貸出し

ディスレクシア（読み書きの困難）など、文字の認識が難しい方の読みを手助けするものとして、マルチメディアDAISY図書があります。マルチメディアDAISY図書は電子書籍の一種で、パソコンなどで再生できます。音声に合わせて画面の文章や絵が色で強調されて、読んでいる箇所や読み方を目と耳で確認しながら読むことができます。利用支援コーナーでは、パソコンとタブレット端末を用意し、利用者の閲覧に供しています。購入や寄贈により収集しているほか、自館でも作成しています。しかし、タイトル数の少なさや認知度の低さから、必要とする方へ十分に資料を届けられていない現状があり、広報活動が課題となっています。

※3 国際標準規格DAISY (Digital Accessible Information System) で作成したデジタル版の録音図書のことです。

※4 「サピエ」は、視覚障害者及び視覚による表現の認識に障害のある人に対して、点字やDAISY図書のデータなど、さまざまな情報を提供するネットワークのことです。

### 録音図書 所蔵数

(タイトル)

資料形態		年度	H30	R1	R2	R3	R4
録音 図書	テープ図書		2,421 (2,416)	2,417 (2,412)	2,418 (2,412)	2,418 (2,412)	2,418 (2,410)
	DAISY 図書		2,727 (2,705)	2,976 (2,949)	3,173 (3,147)	3,374 (3,344)	3,563 (3,517)
マルチメディア DAISY 図書			236 (7)	254 (25)	262 (33)	331 (59)	347 (70)

※ ( ) 内は自館で作成し受入れたもの。ほかに、購入や寄贈により受入れたものがあります。

### 録音図書 貸出数

(点)

資料形態		年度	H30	R1	R2	R3	R4
録音 図書	テープ図書		27	100	72	63	63
	テープ雑誌		0	0	0	0	0
	DAISY 図書		3,655	3,408	3,083	2,844	2,186
	DAISY 雑誌		256	201	193	158	130
マルチメディア DAISY 図書			25	73	0	18	77

### サピエ利用状況 (音声DAISY)

(タイトル)

年 度	H30	R1	R2	R3	R4
ダウンロードしたタイトル数	1,709 (151)	2,012 (167)	1,609 (137)	1,937 (130)	1,493 (117)

※ ( ) 内はダウンロードしたタイトル数のうち、サピエ個人会員によるダウンロード数です。

### 国立国会図書館視覚障害者等用データの収集および送信サービス

年 度	H30	R1	R2	R3	R4
DAISY 図書データ提供数 (タイトル)	2,026	2,303	2,477	2,895	3,114
提供データが利用された回数 (回)	50,388	59,409	66,838	93,365	82,082

### 対面朗読

年 度	H30	R1	R2	R3	R4
回 数	129	105	37	17	44
時 間	256	191	55	34	71

### (3) 点訳サービス

#### ア 点訳図書の作成・貸出し

点訳図書は、調布市の地域資料を中心に作成し、蔵書としています。調布市立図書館に所蔵がないものは、全国の点字図書館などから取り寄せて貸し出します。

#### イ プライベート点訳サービス

学校だよりや家電製品の取扱説明書など、利用者の生活に関わる資料を点訳する、プライベート点訳サービスを行っています。

また、「市報ちょうふ」（広報課）、「市議会だより」（調布市議会）、「調布市ごみリサイクルカレンダー」（ごみ対策課）、「ふくしの窓」（調布市社会福祉協議会）、「健康カレンダー」（健康推進課）などを定期的に点訳し、希望者へ送付しています。

### 点訳サービス実施状況

年 度	蔵書数 (冊)	貸出数 (冊)	点訳件数 (件)	点訳枚数 (枚)	校正枚数 (枚)	点訳者 (人)
H30	489	10	89	2,804	3,166	25
R1	508	5	83	2,784	2,761	24
R2	517	8	66	2,915	2,915	22
R3	518	12	72	1,786	2,154	32
R4	516	10	76	2,979	3,095	28

※ 枚数は、点字で印刷した際の用紙の枚数です。

### (4) 大活字本の収集・貸出し

調布市立図書館では、平成元年度から大きな文字でよみやすい大活字本を収集しており、誰でも借りることができます。元来は弱視の方を対象とした出版物であったため、平成28年4月1日に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されたことにより、徐々に出版点数が増えてきました。現在は、高齢の方の利用も多くなっています。

中央図書館では4階一般室に、分館ではそれぞれの大活字本コーナーに置き、半年に一度分館間の資料の入替えを行っています。また、大活字本の所蔵目録を毎年作成し、希望者に配布しています。

令和元年10月から、一般社団法人霞会館より定期的に拡大写本（大活字本）が寄贈されています。

### 大活字本蔵書数 (冊)

年 度	購入冊数	蔵書冊数
H30	207	5,896
R1	244	6,134
R2	155	6,004
R3	133	6,051
R4	163	6,156

(5) 宅配サービス

平成13年度から宅配サービスを開始しました。心身の障害で外出が困難な方や、高齢者、出産前後の方など、図書館を利用したくても来館できない市民を対象に、図書宅配協力員（登録している市民ボランティア）や職員・図書館専任職員が、最寄りの図書館から徒歩や自転車などで資料を直接届けています。平成14年9月からは郵送サービスも行っています。平成24年度からは、急な怪我や体調不良で来館が困難な方を対象に、一回に限り宅配に伺うスポット宅配を開始しました。

宅配件数は近年増加していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で減少しました。令和3年度以降は、利用が再び増加に転じています。

**令和4年度 宅配サービス実施状況**

項目 館名	登録者数 (人)	宅配協力員数 (人)	実施回数 (回)	貸出資料 (点)
中央	57 (54)	18 (15)	363 (408)	2,290 (2,620)
国領	14 (16)	4 (2)	208 (152)	1,160 (1,008)
調和	15 (17)	5 (5)	51 (51)	226 (255)
深大寺	17 (22)	2 (3)	208 (176)	952 (651)
神代	16 (19)	4 (5)	181 (167)	973 (1,056)
宮の下	25 (26)	6 (1)	241 (138)	964 (356)
緑ヶ丘	9 (11)	6 (4)	92 (118)	409 (467)
富士見	9 (8)	2 (2)	60 (59)	309 (310)
若葉	9 (10)	3 (3)	85 (60)	482 (344)
染地	11 (18)	4 (4)	29 (117)	94 (553)
佐須	12 (14)	5 (4)	59 (68)	832 (1,067)
分館小計	137 (161)	41 (33)	1,214 (1,106)	6,401 (6,067)
郵送※	0		0	0
合計	194 (215)	59 (48)	1,577 (1,514)	8,691 (8,687)

※ ( ) 内は昨年度の数字です。

※ 郵送サービスの利用者数は、中央または分館の宅配登録者に含まれます。

(6) 子どもへのサービス

ア 布の絵本・布の遊具の収集・貸出し

平成2年度から、「公益財団法人ふきのとう文庫」や布のおもちゃ製作グループ「ぐるぷ・もこもこ」製作の布の絵本・布の遊具の収集を始めました。平成18年度に初めて布の絵本製作者の養成講座を行い、受講者は平成19年度から「ふかふか屋」として活動を始めました。令和4年度には3回目の養成講座を行い、現在では32人の製作者が製作・修理を行っています。

丸洗いをすることが難しい布の絵本・布の遊具を清潔に保つため、平成25年に書籍消毒機（紫外線と風により本の殺菌消毒ができる機械）を導入しました。

布の絵本・布の遊具は、利用支援に登録している個人に貸出しを行っているほか、子ども発達センターや特別支援学級などに団体貸出しています。また、おはなし会（絵本の読み聞かせや手あそびなど）のプログラムに布の絵本を取り入れ、子どもたちの反応を見ることで布の絵本・布の遊具の資料としての価値を確認し、利用促進や製作に活かしています。

**布の絵本・布の遊具 所蔵数・貸出数(点)**

年 度	所 蔵 数	貸 出 数
H30	385	271
R1	396	256
R2	415	110
R3	426	74
R4	430	75



布の絵本展示の様子  
『うたのえほんNo. 2』(のぐち みつよ 作)

イ マルチメディアDAISY図書\* (児童書) の収集・貸出し

マルチメディアDAISY版の児童書を購入や寄贈により収集するほか、自館で作成するなどして貸出ししています。また、児童サービス係と連携して小学生へのガイダンスで紹介するなど、利用促進に努めています。

※ マルチメディアDAISY図書については、「(2) 音訳サービス ウ マルチメディアDAISY図書の作成・貸出し(p. 58)」に詳しく記載しています。

(7) 広報活動

利用の拡大を目指し、毎年、市内在住の視覚障害者（障害者手帳1・2・3級をお持ちの方）で利用登録していない方や、しばらく利用がない方に対して、障害福祉課と協力して広報活動を行っています。利用支援の案内と「録音図書目録」の一部を編集・収録した「図書館のご案内」に加え、平成28年度から、実際に録音図書を聞く体験をしていただく試みとして、録音図書の一部を抜粋し収録したCDを送付しています。

利用支援の登録者には、毎月、声のお知らせ「オカリナ通信」を作成し送付しています。また、「録音図書目録」を毎年改訂し、墨字版\*だけでなく、音声版、テキストデータ版といった、利用者の要望に沿った媒体で送っています。これらの内容は図書館のホームページにも掲載しています。利用者からは「オカリナ通信」「録音図書目録」のほか、「新着図書案内」や「東京都公立図書館新作情報」などから予約やリクエストが寄せられています。

利用支援コーナーでは季節ごとに展示を変更し、来館者にPRしています。

ほかにも、市報などの広報誌への記事掲載、地域のボランティアまつりでのPRなど、

多くの市民に利用支援を知ってもらい、必要としている方にサービスが行き渡るように努めています。

※ 墨字とは、点字に対して、書かれた文字や印刷された文字のことを言います。

#### 令和4年度 利用支援発行物及び送付物

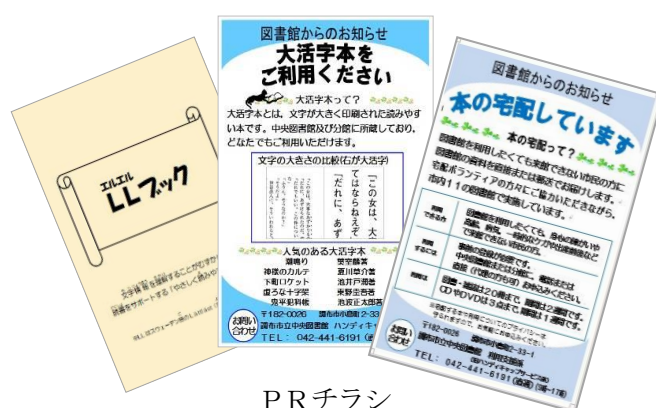
名 称	内 容	発行数・送付数等
図書館のご案内 (障害福祉課との共管事業)	利用案内・録音図書目録及び録音図書のデモンストレーションCDの送付 年1回 対象:未登録で市内在住の1・2・3級の視覚障害者, しばらく利用がない利用支援登録者	音声版 168人
オカリナ通信	図書館などからのお知らせ, 新しい録音図書の案内, サピエ新作情報, 新聞書評 毎月発行 下記の発行物の音訳版も同封 ・「新着図書案内」(調布市立図書館発行) ・「図書館だより」(調布市立図書館発行) ・「ぱれっと」(調布市文化・コミュニティ振興財団発行) 対象:送付を希望する利用支援登録者	音声版 35人 1施設
東京都公立図書館 新作情報	都内公立図書館で新たに作成した録音・点訳図書の紹介 東京都立中央図書館発行 隔月発行 対象:送付を希望する利用支援登録者	送付人数 19人 媒体別送付数 音声版 15人 テキストデータ版 4人
録音図書目録	調布市立図書館所蔵の録音図書の目録 毎年発行 墨字版は市内各図書館で配布 対象:送付を希望する利用支援登録者	墨字版 100部 送付人数 57人 媒体別送付数 (重複あり) 音声版 43人 墨字版 20人 テキストデータ版 3人
大活字本目録	調布市立図書館所蔵の大活字本の目録 毎年発行 市内各図書館で配布	墨字版 170部
布の絵本目録 <sup>※</sup>	調布市立図書館所蔵の布の絵本・布の遊具の目録 蔵書の状況により改訂版を発行 市内各図書館で配布	令和4年度は未実施

※ 「布の絵本目録」は、墨字版のほかに、全ページを写真で確認できる目録を作成し、市内の図書館などに置いています。



## 令和4年度 利用支援広報活動

事業名	内容	回数等
関係機関発行物等でのPR	市報（3回）『障害者福祉のしおり』、『くらしの案内シルバー編』、『元気に育て！調布っ子』、調布FM（1回）	7回
イベントでのPR	利用支援サービスの説明や宅配サービス等のチラシ配布	※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。
	ボランティアまつり染地 5月 富士見ふれあいのつどい 6月 調布市敬老会（資料配布のみ） 9月	
	調布市福祉まつり 12月	※ 動画配信での開催
布の絵本展示	市内各図書館で布の絵本・布の遊具の展示を実施 通年（中央図書館及び8分館）	市内9箇所
	子ども家庭支援センターすこやかにおける展示会協力	※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。



PRチラシ

### (8) 音訳者・点訳者・布の絵本製作者向け講座・講習会

例年、調布市立図書館で活動して下さる音訳者（29人）、点訳者（28人）、布の絵本製作者（32人）を対象にした講座を開催しています。これまでの講座修了者による自主勉強グループの活動も行われています。

令和4年度は、新規に調布市立図書館の協力者となつていただくための音訳者養成講座（初級）と布の絵本製作者養成講座を開催しました（音訳者養成講座は令和5年度まで継続）。

各グループの自主勉強会も、感染状況を見極めながらの実施となりました。



## 令和4年度 講座・講習会

講座名	期日・対象・会場・参加人数	講師及び内容
音訳者養成講座 (初級) (全12回のうちの 1～4回)	3月9, 16, 23, 30日(毎週木曜日) (令和4年度から5年度にかけて開催) 10時00分～12時00分 文化会館たづくり 601・602 会議室ほか 受講者 12人	講師: 調布市立図書館 音訳者 内容: 新規の音訳者を 養成する初級講座
布の絵本製作者養成講座(5回)	10月12, 26, 11月9, 30, 12月14日(水曜日) 13時30分～15時30分 文化会館たづくり 601・602 会議室 受講者 16人	講師: ぐるーぷ・もこ もこ 内容: 新規の布の絵本 製作者を養成する初級 講座
点訳者養成講座 (フォローアップ 研修)	10月26日(水曜日) 10時00分～12時00分 点訳くすのき定例会にて ZOOM 開催 受講者 22人	講師: 調布市立図書館 主幹 内容: 図書館と著作権 について
布の絵本・遊具に ついて	3月15日(水曜日) 13時30分～15時30分 文化会館たづくり 601・602 会議室 受講者 19人	講師: 諏訪部千秋氏 すわべちあき 内容: 調布市立図書館 の布の絵本のサービス について

## 令和4年度 音訳者・点訳者・布の絵本製作者による自主勉強グループの活動

グループ名	定例日・会員数・会場	内容
水曜会(音訳)	第2水曜日 29人 文化会館たづくり 601・602 会議室	作成途中の録音図書の互評と音訳技術 研さんのための学習
調布ブライユ (点訳)	第1・4木曜日 2人 中央図書館対面朗読室	「市議会だより」(年4回), 「ふくしの 窓」(隔月) などの点訳, 点訳作業の打 合せと校正
点訳くすのき (点訳)	第2・4水曜日 26人 第2水曜日は文化会館たづ くり 1002 学習室 第4水曜日は ZOOM 開催	「市報ちょうふ」(月2回), 行政資料 などの点訳, 点訳作業の打合せ
ふかふか屋 (布の絵本製作)	第1・3水曜日 29人 文化会館たづくり 601・602 会議室	布の絵本・遊具の製作及び修理

(9) その他事業

例年、4月に協力者（音訳者・点訳者・布の絵本製作者）との懇談会、11月に利用者懇談会を開催し、利用支援に対する意見を伺っています。

**令和4年度 その他事業**

事業名	実施日・会場・参加人数等
利用支援協力者懇談会	令和4年4月21日(木) 10時00分～11時00分 文化会館たづくり 1002 学習室 参加者 14人 令和3年度活動報告（利用支援係職員）
利用支援サービス 利用者懇談会	令和4年11月15日(火) 10時00分～11時30分 文化会館たづくり 601・602 会議室 参加者 14人（利用者6人，音訳者6人，点訳者2人）

(10) 実習生・職場体験の受入れ

例年、日本図書館協会主催の「障害者サービス担当職員養成講座（基礎コース）」の実習館として、受講生を受け入れていますが、オンライン開催となったため、実習はありませんでした。

中学生の職場体験には、点字を打つ体験をしてもらうなど利用支援の仕事も組み入れていますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となりました。

(11) 利用支援用資料の収集

平成25年度に定めた「調布市立図書館ハンディキャップサービス資料収集等に関する方針」（名称変更に伴い、令和3年度に「調布市立図書館利用支援サービス用資料収集等に関する方針」と改訂）に基づき、資料を収集しています。現在、調布市立図書館では、自館作成の資料のほか、市販及び寄贈の資料（DAISY図書、マルチメディアDAISY図書、点字資料、布の絵本・布の遊具、点字絵本、LL<sup>\*</sup>ブックなど）を所蔵しています。

※ LLはスウェーデン語のLättläst（やさしく読みやすい）の略です

※ 調布市立図書館で使用している宅配専用バッグを持っています。  
※ 左上には点字で「じろ」と書いてあります。



## 6 分館の活動状況

調布市立図書館は、中央図書館を中心に10の分館が図書館網を形成し、全体を一つのシステムとして運営しています。市民に身近な場所にある分館は、高齢者や子どもたちにも読書や調べものなどに利用され、生活に根ざした施設として活用されています。

より快適な読書を提供するために、染地分館は、令和4年8月1日（月）から令和5年3月31日（金）まで休館し、内装・外壁、電気設備等の改修工事を行いました。

また、深大寺分館のシャッターや宮の下分館の小便器のセンサーなど、各館で適宜修繕を行いました。

国領分館と調和分館では外付けのブックポストを設置しました。

### (1) 具体的なサービス

図書館のサービスを支える地域の拠点として、貸出・予約などの資料提供業務のほか、どの分館でも均一なサービスを受けられるように、次のような事業にも積極的に取り組んでいます。詳細は、「IV 図書館活動状況」1から5まで(p.24~66)の各項目に記載しています。

#### ア 子どもへのサービス

全分館に子ども室を設置し、子どもと本を結ぶための事業を実施しています。

- (ア) 乳幼児から小学生までを対象とする定例おはなし会の実施
- (イ) 保育園、児童館などとの連携（おはなし会・団体貸出）
- (ウ) 市内の公立小学校3年生に対する図書館利用ガイダンスと各学年・各クラスへの団体貸出
- (エ) 地域で子どもの読書に関わる市民への支援
- (オ) 小・中学校の先生や学校司書の調べ学習用資料調査への協力と資料提供
- (カ) 図書館がすすめる本の展示やリストの配布
- (キ) 校外学習への協力
- (ク) 中学生職場体験の受入れ

#### イ レファレンスサービス

#### ウ 宅配サービス

#### エ 図書館ボランティアとの協働（書架整理・図書の修理など）

#### オ 図書館と市内の大学との相互協力の窓口（緑ヶ丘分館、若葉分館）

#### カ 近隣の病院、老人福祉施設などへのサービス（団体貸出）

#### キ 地域の情報提供サービス（地域を知る地図・まちの施設ガイドなど）

### (2) 分館における蔵書の維持・管理

分館は少人数の職員で、各地域の特色を踏まえた資料収集を行っています。調布市立図書館として一定の水準を維持し、共通の基盤をもって蔵書の維持管理ができるよう、選書・配架・除架などに関して、職員間での情報交換を日常的に行っています。また、経験年数の浅い職員の研修も兼ねて、複数の視点で蔵書管理作業ができるよう、図書館全体でサポート体制をとっています。

(3) 自衛消防訓練の実施

全館で自衛消防訓練を行っています。併設施設と合同で実施するなど館の状況に合わせて工夫しています。

(4) 近隣施設・機関との連携

分館は、地域に密着した資料収集やサービスの強化に努めています。そのため、近隣の公的施設・機関の催しや協力依頼に積極的に応えています。

図書館のPRと連携強化を図るため、図書館事業の案内を近隣施設・機関に送付し、掲示や配布依頼をしています。また、各施設・機関のおたよりや案内を図書館内で配架をしています。

(5) 地区協議会への参加

地区協議会とは、小学校区の地域住民が地域の団体と連携・協力し、まちづくりのために自主的に活動するネットワーク組織です。地域住民や近隣施設との情報の共有や提供のため、図書館も協力しています。

令和4年度は、調和分館が2回、若葉分館が2回会議に参加しました。

(6) 集会室の貸出し

深大寺分館・神代分館・宮の下分館・富士見分館・若葉分館に集会室があります。市内の読書会や自治会などの団体に貸出ししています。神代分館と若葉分館では夜間の貸出しはしていません。

若葉分館は、施設の整備のため令和2年度から貸出しを中止しています。

**令和4年度 集会室利用回数**

(回)

区分 \ 館名	深大寺	神代	宮の下	富士見	合計
午前	25	38	6	2	71
午後	36	6	6	1	49
夜間	8		0	0	8
合計	69	44	12	3	128

(7) 各館の活動

ア 国領分館

京王線国領駅から歩いて3分、第五保育園2階にある図書館です。付近には商業施設も多く、買い物ついでに気軽に立ち寄れる利便性の良い場所にあります。

2月からは、入り口前にブックポストを増設しました。



外観



子ども室



一般室

(ア) 展示

対象	テーマ	テーマ数
一般	「忙しいときの時短術」ほか	21
子ども	「おしごといろいろ」ほか	37

※ YA対象の展示は一般対象のテーマ数に含んでいます。



入り口前に新たに設置した  
ブックポスト



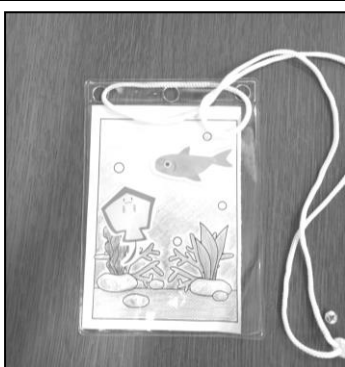
一般展示「忙しいときの時短術」



YA対象の「ぶちさんコーナー」展示  
「どこかでみた？はじめてみた？  
イラストあつめました」

(イ) 館内の催し物等

事業名・期日・参加人数等	内 容
児童向け読書推進イベント 「マイアクアリウムをつくろう！」 実施日：7月27日(水)～9月30日(金) 参加人数：459人	本を借りた方に、1日に1枚さかなのシールを配りました。シールはぬり絵した台紙に貼ってもらい、自分だけのアクアリウムを作ってもらいました。「このほんよんで！」に掲載されている本を借りた方には、もう1枚シールを配りました。
児童向け読書推進イベント 「こくりょうぶんかん なぞときクリスマス」 実施期間：11月1日(火)～12月25日(日) 参加人数：214人	絵本に関するなぞを解いた方に、オーナメントのシールをお渡ししました。なぞは8週間かけて2問ずつ公開しました。なぞは2段階の難易度があり、難しい方のなぞが解けた方には、特別なシールを配りました。お渡ししたシールは紙のクリスマスツリーに貼って飾りつけをしてもらいました。



首から下げられる「マイアクアリウム」



シールでいっぱいクリスマスツリー

(ウ) 近隣施設・機関との連携

**主な連携施設・機関**

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	国領小学校 第二小学校 第六中学校
保育園・幼稚園	第五保育園 京王キッズプラッツ国領
その他	NPO法人ひなげしの会第三ポピーの家 NPO法人ひなげしの会第二ポピーの家 国領児童館 子ども家庭支援センターすこやか 多摩川病院保育室 多様性社会・男女共同参画推進課

**連携内容**

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
国領小学校2年生「町たんけん」 11月11日(金) 国領分館 児童4人 保護者1名	児童があらかじめ考えていた質問を中心にインタビューを受け、館内を案内しました。
子ども家庭支援センターすこやかへの団体貸出 毎月1回	紙芝居を20冊ずつ選定し貸出ししました。

## イ 調和分館

京王線つつじヶ丘駅・柴崎駅からそれぞれ徒歩10分、調和小学校と併設の図書館です。周囲は団地に囲まれ、南には野川が流れる静かな環境にあります。スポーツ施設が充実した地域にあるため、プールやスポーツの後に立ち寄る人も多く見受けられます。

令和4年9月に開館20周年を迎えました。



外観



子ども室



一般室

### (ア) 展示

対象	テーマ	テーマ数
一般	「本をつくる仕事」 ほか	12
子ども	「ふゆとうさぎの本」 ほか	15



一般向け展示  
「本をつくる仕事」



子ども室展示  
「ふゆとうさぎの本」

### (イ) 館内の催し物等

事業名・期日・参加人数等	内容
調和分館開館20周年記念写真展 「調和分館ができるまで」 9月1日(木)～9月30日(金)	調和分館建設当時の館内や引越しの様子を記録した写真を展示しました。また、「調和分館20周年お祝いケーキ」としてケーキ(布のおもちや)を展示し、広報を行いました。
子ども室特別展示 「PICTURE BOOKS」 4月1日(金)～10月16日(日)	日本語を母語としない方の利用登録や英語の絵本に関する問い合わせが増えてきたため、中央図書館の所蔵資料を活用して英語で書かれた絵本の展示を行いました。





開館 20 周年記念写真展「調和分館ができるまで」

(ウ) 近隣施設・機関との連携

**主な連携施設・機関**

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	調和小学校 第七中学校はしうち教室
保育園・幼稚園	金子保育園 かしのみ保育園 パイオニアキッズ柴崎園
その他	ちょうわ地区協議会 適応指導教室「太陽の子」※

※ 「太陽の子」は、調布市立小学校に在籍する児童で、心理的要因等により不登校状態又はその傾向にある児童が社会的自立に向けて学ぶための教室です。

**連携内容**

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
適応指導教室「太陽の子」との連携 団体貸出 301冊	団体貸出を行いました。
調和小学校2年生「町探検」 6月16日(木) 調和分館 児童28人 教員1人 ※ 14人ずつ2回に分けて実施	児童が教員付き添いのもと来館しました。児童が事前に考えてきた図書館に関する質問に職員が答えました。

ウ 深大寺分館

京王線調布駅からバスで山野下車徒歩10分の市北端部の緑豊かな地域にある図書館です。子ども用トイレや授乳室を備え，屋上緑化や太陽光発電も取り入れた，人と環境に配慮した施設です。



外観



子ども室



一般室

(ア) 展示

対象	テーマ	テーマ数
一般	「春はお散歩」 ほか	18
子ども	「ピーターラビット出版 120 周年」 ほか	31

※ YA対象の展示は一般対象のテーマ数に含んでいます。

(イ) 館内の催し物等

事業名・期日・参加人数等	内 容
本のおみくじ 1月13日(金)～1月31日(火) おみくじ配布枚数 142枚 絵馬掲示数 39枚	本を借りた人に様々なテーマの本を紹介したおみくじをひいてもらいました。また，利用者に記入してもらった絵馬を館内に展示しました。



一般向け展示  
「沖縄の本」



子ども向け展示  
「おかしの本」



YA 展示  
「スキマ時間に物語を」



催し物  
「本のおみくじ」

(ウ) 近隣施設・機関との連携

**主な連携施設・機関**

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	北ノ台小学校 深大寺小学校
保育園・幼稚園	深大寺保育園 ういず調布深大寺保育園
その他	深大寺児童館 北ノ台まちづくりネットワーク（地区協議会）

**連携内容**

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
北ノ台小学校2年生「町たんけん」 10月13日(木)11時10分～12時 深大寺分館 教員2人 児童20人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、児童20人を質疑応答と館内見学の2グループに分けて実施しました。
深大寺児童館子育てひろば事業 原則毎月2回 深大寺児童館 赤ちゃんひろば 8回 58組117人 幼児ひろば 9回 76組161人	深大寺児童館からの依頼があり、令和2年度から引き続き、おはなし会を実施しました。大型絵本やわらべうたの実演をしました。
環境美化の協力	北ノ台まちづくりネットワークの方々に深大寺分館敷地内の除草作業に協力してもらいました。

(エ) 市民との協働

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
能面の展示 深大寺分館入口壁面展示スペース	令和2年度から引き続き、市民からお申出があり、ご自身の作品を展示しました。2か月ごとに作品の入替えを行いました。

## エ 神代分館

京王線つつじヶ丘駅から徒歩8分、神代保育園2階にある図書館です。利用者が作成したペーパークラフトを季節に合わせて飾りつけするなど、居心地の良い図書館になるよう工夫しています。



外観



子ども室



一般室

### (ア) 展示

対 象	テ ー マ	テーマ数
一 般	「お天気の本」 ほか	13
子ども	「くだものいっぱい」 ほか	25

### (イ) 近隣施設・機関との連携

#### 主な連携施設・機関

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	上ノ原小学校 神代中学校
保育園・幼稚園	神代保育園 調布上ノ原保育園 ポピンズナーサリースクール 調布分園
その他	つつじヶ丘児童館 北部公民館

#### 連携内容

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
つつじヶ丘児童館子育てひろば事業 「絵本でこんにちは」 原則毎月第4金曜日 つつじヶ丘児童館 11回 子ども78人 大人80人	神代分館職員が児童館を訪問し、おはなし会を行いました。絵本の読み聞かせのほか、手あそび、わらべうたをプログラムに取り入れました。

<p>北部公民館主催事業  「やってみよう！読み聞かせ」  12月22日(木), 1月12日(木)  北部公民館学習室  10時00分～11時15分  大人20人程度  「わくわくドキドキおはなし会」  2月9日(木)  北部公民館和室, 保育室  10時00分～10時35分  子ども11人 大人2人  11時00分～11時35分  子ども10人 大人2人</p>	<p>北部公民館で開催された全7回の連続講座のうち、2回にわたって読み聞かせの方法や本の選び方、おすすめの本の紹介を行いました。また、講座の中で「わくわくドキドキおはなし会」と称し、公民館の近隣の保育園を招いて、受講生と共におはなし会を実施し、絵本の読み聞かせと科学あそびの実演を行いました。</p>
---	--



北部公民館「わくわくドキドキおはなし会」



つつじヶ丘児童館 子育てひろば

## オ 宮の下分館

京王線西調布駅から徒歩15分、宮の下保育園2階にある図書館です。子どもから高齢の方まで、幅広い年代の方に親しまれている図書館です。



外観



子ども室



一般室

### (ア) 展示

対象	テーマ	テーマ数
一般	「2022年の出来事」 ほか	15
子ども	「ありがとうやまわきさん」 ほか	18

### (イ) 館内の催し物等

事業名・期日・参加人数等	内容
子どもの日企画展示 5月1日(日)～5月8日(日)	子どもの日を記念して、子ども室内にて鯉のぼりのしおりや兜を新聞紙で折る等のイベントを実施しました。
宮の下分館開館50周年記念イベント ・「わたしととしょかん」メッセージカード 7月9日(土)～8月31日(水) 応募枚数36枚 ・「じろののがおえぼしゅう！」 7月9日(土)～8月31日(水) 応募枚数44枚 ・じろのじろじろもんだい 7月20日(水)～9月10日(土) 参加人数14人 ・ふしぎなメモとおたんじょうび 8月2日(火)～9月19日(月) 参加人数9人 ・第五中学校の図書委員によるお祝いのポスターを掲示 7月20日(水)～9月19日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じろののがおえだいぼしゅう！ 調布市立図書館公式キャラクター「じろ」の似顔絵を募集し館内に掲示しました。</li> <li>・わたしととしょかん 図書館にまつわるメッセージを募集し館内に掲示しました。</li> <li>・じろのじろじろもんだい 『このほんよんで！』に掲載されている絵本からクイズを出題しました。</li> <li>・ふしぎなメモとおたんじょうび 分館内を探検する謎解き企画を実施しました。</li> </ul>



一般向け展示  
「2022年の出来事」



宮の下分館開館50周年記念展示



「じろののがおえ」展示・第五中学校図書委員からのお祝いポスター

(ウ) 近隣施設・機関との連携

**主な連携施設・機関**

種別	施設・機関名
小・中・高等学校	第三小学校 飛田給小学校 第五中学校
保育園・幼稚園	宮の下保育園 上石原保育園 調布なないろ保育園
その他	西部公民館 西部児童館 青木病院

**連携内容**

事業名・期日・会場・参加人数等	内容
西部児童館子育てひろば事業 赤ちゃんひろば おはなし会 6月3日(金), 9月2日(金), 11月4日(金), 1月31日(金), 3月3日(金) 11時30分～11時50分 西部児童館 48組 (大人48人, 子ども48人)	絵本の読み聞かせ, わらべうた, 布の絵本の実演を行いました。
西部公民館の「西部地域文化祭」への参加 10月29日(土)～11月6日(日)	西部公民館からの依頼で地域文化祭へパネル展示に協力した。内容は宮の下分館開館50周年のPRや開館当初の写真の展示, 利用支援サービスのチラシ等を配布した。



## カ 緑ヶ丘分館

京王線仙川駅から徒歩12分、都営仙川アパートの中にある落ち着いた雰囲気の本館です。平屋建てなので、ベビーカーの赤ちゃん連れでも来館しやすく、また高齢の方にも利用しやすい施設です。



外観



子ども室



一般室

### (ア) 展示

対象	テーマ	テーマ数
一般	「本で旅する」「東京再発見・再確認」ほか	16
子ども	「おいしいおかし」ほか	26



一般向け展示  
「本で旅する」



子ども向け展示  
「おいしいおかし」



「子ども向けセット本」の貸出し

### (イ) 館内の催し物等

事業名・期日・参加人数等	内容
「子ども向けセット本」の貸出し 通年	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、館内での滞在時間を短くしたい方向けに、本を5冊セットにしてすぐに借りられる本の展示をしました。</p> <p>子ども向けには、0・1・2歳、幼児、低学年、中学年、高学年対象別セットのほか、ながいおはなしのえほん、のりものなど、テーマ別のセットを貸出ししました。</p> <p>好評につき、令和2年度から継続して子ども室で常設展示しました。</p>

緑ヶ丘分館移転説明会	令和4年12月16日(金) 18時から19時30分の間で、都営調布緑ヶ丘二丁目団地建替に伴う緑ヶ丘分館の移転説明会を行いました。会場を緑ヶ丘分館おはなし室で行い、7人の参加がありました。
------------	---

(ウ) 近隣施設・機関との連携

### 主な連携施設・機関

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	緑ヶ丘小学校 第八中学校
保育園・幼稚園	緑ヶ丘保育園 ブライト保育園調布仙川 オフィク仙川 グラン仙川ちとせ保育園
その他	緑ヶ丘児童館 白百合女子大学

### 連携内容

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
緑ヶ丘児童館赤ちゃん広場おはなし会 原則毎月第3金曜日 11時30分～11時50分 緑ヶ丘児童館プレイルーム 19回 子ども153人 大人138人	緑ヶ丘児童館の赤ちゃんひろば・幼児ひろばに参加している乳幼児と保護者を対象に、絵本や布の絵本の読み聞かせ、手あそびなどをしました。赤ちゃんひろばと幼児ひろばそれぞれで、4月と8月を除き通年で開催しました。
緑ヶ丘小学校2年生「町たんけん」 12月1日(火)、16日(金) 9時45分～10時20分 緑ヶ丘分館おはなし室	令和3年度はオンラインで実施しましたが、令和4年度は対面で実施しました。児童5人から事前に寄せられた質問に答え、館内の見学を行いました。後日、お礼の手紙と児童が作成した図書館新聞の写真をいただきました。



緑ヶ丘分館移転説明会 (12月)

キ 富士見分館

京王線調布駅から徒歩15分、富士見保育園2階にある図書館です。静かでゆっくと調べものや読書ができる環境が整っています。



外観



子ども室



一般室

(ア) 展示

対象	テーマ	テーマ数
一般	『何を読もう?』と思ったその時に」ほか	8
子ども	「いろいろ色!」ほか	33

※ YA対象の展示は児童対象のテーマ数に含んでいます。

(イ) 館内の催し物等

事業名・期日・参加人数等	内容
科学あそび 「紙っておもしろい??」 7月27日(水) 児童6人 保護者2人 8月3日(水) 児童1人 保護者1人 15時00分～15時45分 富士見分館 集会室	子どもたちが多様なジャンルの本に親しめるよう、簡単な実験を含んだ科学あそびを、おはなし会のプログラムに取り入れました。
夏のおはなし会 7月30日(土) 10時30分～10時45分 0・1・2歳 児童1人 保護者1人 15時00分～15時15分 3歳以上 児童5人 保護者1人 8月21日(日) 10時30分～10時45分 0・1・2歳 児童2人 保護者2人 15時00分～15時15分 3歳以上 児童3人 保護者2人 富士見分館 集会室	水曜日に実施している定例のおはなし会に参加できない利用者を対象に、おはなし会を実施しました。

(ウ) 近隣施設・機関との連携

主な連携施設・機関

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	石原小学校 調布中学校
保育園・幼稚園	富士見保育園 上布田保育園 こんぺいとう保育園 保恵学園幼稚園
その他	富士見児童館 地域包括支援センターちょうふの里 地域交流センターまんまる

連携内容

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
認知症サポート月間展示 「認知症のこと」 9月1日(木)～9月30日(金) 富士見分館 一般室	市の「認知症サポート月間」に合わせ、地域包括支援センターちょうふの里からチラシ配布等の協力依頼があり、認知症に関する資料の展示を行いました。
石原小学校2年生「町たんけん」 10月27日(木) 9時30分～9時50分 児童14人 保護者3人 富士見分館	生活科の学習の一環として児童が来館しました。館内見学と質疑応答を行いました。



科学あそび  
「紙っておもしろい??」



石原小学校2年生  
町たんけん

## ク 若葉分館

京王線仙川駅から徒歩15分、市内唯一の2階建ての図書館です。木々に囲まれた緑豊かな地域で、若葉小学校に隣接しています。



外観



子ども室



一般室

### (ア) 展示

対象	テーマ	テーマ数
一般	「世界のごちそう」ほか	18
子ども	「みんなのおうち」ほか	24

### (イ) 館内の催し物等

事業名・期日・参加人数等	内容
0・1・2歳のおはなし会 再開	令和2年度から、新型コロナウイルスの影響とおはなし室の未整備のため休止していましたが、11月から再開しました。
「若葉ブックトークまつり」 8月5日(金)～6日(土) 中止	小学校低学年から中学生以上向けの対象別にブックトークを行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりました。



裏庭での幼児向けおはなし会



0・1・2歳向けおはなし会

(ウ) 近隣施設・機関との連携

主な連携施設・機関

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	若葉小学校 滝坂小学校 第四中学校 神代高等学校
保育園・幼稚園	仙川保育園 東部保育園 仙川教会子どもの家
その他	東部公民館 東部児童館 武者小路実篤記念館 若葉小学校地区協議会

連携内容

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
仙川教会子どもの家でのおはなし会 5月27日(金)	若葉分館の職員が仙川教会子どもの家を訪問し、3・4・5歳児を対象に各クラスでおはなし会を行いました。
若葉小学校1年生図書館見学 7月14日(木)1年生4クラス	少人数に分かれて館内の見学を行いました。
若葉小学校2年生「町たんけん」 10月19日(水)9時15分～9時45分 11時～11時30分 若葉分館 児童59人 教員2人 保護者4人	図書館の玄関横で図書館についての説明を聞くグループと、館内を見学するグループに分かれて実施しました。館内見学の際は、「おすすめの本の目印は？」などのクイズに取り組んでももらいました。
東部児童館「赤ちゃんひろば」 0・1・2歳向けおはなし会 実施回数7回 延べ参加者 子ども92人 大人93人 計 185人	6月から東部児童館赤ちゃんひろばで、定期的に0・1・2歳向けのおはなし会を行いました。東部児童館での定期的なおはなし会は、令和4年度からの連携事業です。
東部地域文化祭 (1)「本のおみくじ」 10月29(土)～11月6日(日) 若葉分館、東部公民館 (2)「本のおすすめ会」 11月3日(木・祝) 若葉分館 子ども室 参加者 子ども4人 大人6人	「本のおみくじ」では、おすすめの本が記載されたおみくじを配布しました。 「本のおすすめ会」では、小学校低学年から中学生以上まで対象別で4回に分けて本のブックトークを行いました。 「本のおみくじ」と「本のおすすめ会」で紹介した本は、若葉分館子ども室内で展示しました。
公共施設の壁面緑化の推進	環境政策課のグリーンカーテン事業に協力し、ゴーヤを育てました。



本のおみくじ展示



本のおみくじ（東部公民館）



本のおすすめ会



## ケ 染地分館

京王線調布駅からバスで多摩川住宅西下車または染地公園下車徒歩3分、都営住宅内にある、染地地域福祉センターと併設の図書館です。近くに多摩川が流れ、自然豊かで静かな場所にあります。

施設の大規模改修工事のため、令和4年8月1日から令和5年3月31日まで臨時休館しました。休館中、多摩川自然情報館に臨時窓口を設置し、予約資料の貸出しなどを行いました。詳細は「7 染地分館の施設改修工事に伴う臨時休館」(p. 129)をご覧ください。



## (ア) 展示

対 象	テ ー マ	テーマ数
一 般	「おいしい小説」 ほか	2
子ども	「季節の本 (なつ)」 ほか	6

## (イ) 近隣施設・機関との連携

### 主な連携施設・機関

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	杉森小学校 染地小学校 第三中学校
保育園・幼稚園	染地幼稚園 エンゼルランド エンゼルシー
その他	染地児童館 すぎもり地区協議会 染地ボランティアコーナー ファーストステップ(就労継続支援B型事業所*)

※ 一般企業等での就労が困難な方に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業所。

## 連携内容

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
染地児童館子育てひろば事業 「そめルンルンおはなし会」 6月3日(金), 9月15日(木), 12月2日(金), 3月16日(木) 11時20分～11時50分 染地児童館遊戯室 延べ27組(乳幼児29人, 保護者27人)	6・12月は赤ちゃん向け, 9・3月は幼児向けに, わらべうたや絵本の読み聞かせを行いました。

コ 佐須分館

京王線布田駅から徒歩20分、佐須児童館2階の図書館です。近くには歴史のある虎狛神社や祇園寺があります。子ども室は親子連れでにぎわっていますが、奥の広々とした閲覧室ではゆっくりと読書を楽しむことができます。



外観



子ども室



一般室

(ア) 展示

対象	テーマ	テーマ数
一般	「わがまち調布」「はじめての〇〇」 ほか	15
子ども	「おすすめ外国の本」「泳ぐ本」 ほか	28

※ 常設展示、YA対象の展示は一般対象のテーマ数に含んでいます。

(イ) 館内の催し物等

事業名・期日・参加人数等	内容
常設展示「認知症とともに」	認知症についての解説や介護に関連する本、市の発行物などを1か所にまとめて展示しました。
YA 向け展示「ぶちさんコーナー」 展示テーマ数 6テーマ	中高生世代向けの展示コーナーを新たに設置しました。テーマを決めて本を展示したほか、思ったことやイラストなどを自由に書いて投稿できる「ぶちさんポスト」を設置し、投稿を館内に掲示しました。
佐須分館開館40周年記念イベント ・じろのにおえだいぼしゅう！ 7月9日(土)～8月31日(水) 応募枚数49枚 ・わたしととしょかん 7月9日(土)～8月31日(水) 応募枚数33枚 ・じろのじろじろもんだい 7月20日(水)～9月3日(土) 参加人数8人 ・ふしぎなメモとおたんじょうび 8月2日(火)～9月19日(月) 配布数101枚 クリア人数30人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・じろのにおえだいぼしゅう！ 調布市立図書館公式キャラクター「じろ」の似顔絵を募集し館内に掲示しました。</li> <li>・わたしととしょかん 図書館にまつわるメッセージを募集し館内に掲示しました。</li> <li>・じろのじろじろもんだい 『このほんよんで!』に掲載されている絵本からクイズを出題しました。</li> <li>・ふしぎなメモとおたんじょうび 分館内を探検する謎解き企画を実施しました。</li> </ul>



一般向け展示「ゲゲゲ忌2022」



子ども向け展示  
「クリスマスのほん」



「ふしぎなメモとおたんじょうび」



「わたしととしょかん」メッセージカード



「じろのにおえだいぼしゅう！」



「じろのじろじろもんだい」

(ウ) 近隣施設・機関との連携

主な連携施設・機関

種 別	施 設 ・ 機 関 名
小・中・高等学校	柏野小学校 八雲台小学校 第七中学校
保育園・幼稚園	八雲台保育園
その他	佐須児童館 かしわの学童クラブ 柏野小ユーフォー 調布ヶ丘児童館

連携内容

事業名・期日・会場・参加人数等	内 容
佐須児童館運営会議への参加 ・ 第1回 6月24日(金) 佐須児童館プレイルーム ・ 第2回 2月17日(金) 佐須児童館多目的室	運営委員として会議に参加しています。佐須児童館の基本方針・事業計画及び実績についての報告のほか、各運営委員が情報交換を行いました。
学童クラブ新入生ガイダンス 5月13日(金) 15時～15時30分 佐須児童館学童クラブ室 30人	佐須児童館学童クラブの1年生から3年生に向けた図書館利用ガイダンスを行いました。